

教科	科 目	単位数	学年・クラス
公民	倫理	3	3年 人文探究コース

1 使用教材

使用教科書	高等学校 倫理
出版社	第一学習社
副教材等	倫理ワークブック
出版社	愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会公民部門

2 学習の目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けている。
② 思考・判断・表現	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して、学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり、他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて、多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業ノート	C	C	A	授業内容のまとめ方
レポート	B	B	A	自分の意見を論理的に記述できているか。
定期考査	A	A	C	知識のほか、資料の読み取り問題を含む。

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方 第1章 人間の心と自己形成 1 青年期の課題と自己形成 第2章 人間の存在や価値と 1 ギリシアの思想 2 ユダヤ教とキリスト教 3 イスラーム 4 仏教 5 中国の思想 6 宗教や芸術	青年期の課題を踏まえ、人格、感情、認知、発達についての心理学の考え方をもとに、様々な人間の心のあり方を理解する。 古代ギリシアの思想をもとに、様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。 世界の各宗教から様々な人間の見方や人生の捉え方を説く代表的な先哲の思想について、自己との関わりにおいて理解する。
2 学 期	第3章 人間のあり方と社会 1 人間の尊厳 2 科学革命の時代と自然観 3 自由で平等な社会の実現 4 人間性の回復と主体性の確立 第4章 現代の人間と社会をとらえる思想 1 現代の思想と人間像 2 生命への畏敬と社会参加 第5章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1 日本固有の思想 2 外来思想の受容 3 町人思想のめざめと庶民思想 4 西洋思想との出会い 第2編 現代の諸課題と倫理 第1章 自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 1 生命の問題と倫理課題 2 地球環境の問題と倫理的課題 3 科学技術の進展と倫理的課題 第2章 社会と文化にかかわる諸課題と倫理 1 福祉の向上と倫理的課題 2 文化と宗教の影響と倫理的課題 3 国際平和と倫理的課題 共通テスト演習	人間の尊厳、自然観、功利主義、実現主義等を代表的な先哲の思想を通して、どのように捉えてきたかを理解する。 現象学、言語哲学、構造主義などについて、代表的な先哲の思想を通して理解する。 社会参加と奉仕の意義を理解し、社会参加の中にも生きがいがあることを理解する。 日本人の人間観、自然観、宗教観などと、古来の日本人の心情と考え方との関係、西洋思想の受容等を踏まえながら理解する。 生命との関わり、地球環境の問題等において、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 福祉、文化と宗教の影響等について倫理的課題を見だし、人間としてのあり方生き方についての見方・考え方を働かせ、他者と対話しながら、現代の諸課題を探究する。 共通テスト演習を行うなかで、1、2学期で学んだ知識を活用しながら、多面的・多角的に考察する。
3 学 期	共通テスト演習	共通テスト演習を行うなかで、1、2学期で学んだ知識を活用しながら、多面的・多角的に考察する。